



きのうは、うまくいかなかった。
きょうは、すこしできた。
あすは、もっとできるようになるはず。

入社当初はなかなか作業の手順を覚えられなかった。
手順書を作成してみた。
繰り返し、繰り返し、怒らずに教え続けた。
1年後には、見違えるほど正確に、
手際良く仕事ができるようになっていた。
今では現場の重要な戦力になっている。



人にはそれぞれ個性がある。
障害もひとつの個性と考えて、
その個性に合わせたやり方で、
働きやすい環境を作っていけば、
障害のある方だけでなく、
みんなが働きやすい職場になるはず。

このガイドブックでは、
そのヒントになる事例をいくつかご紹介します。

